

「長崎県庁では、全6,000端末に InterSafeを導入し、セキュリティと業務効率の両方を実現しています」

長崎県庁では、アルプス システム インテグレーション (ALSI) の4年連続シェアNo.1*国産Webフィルタリングソフト「InterSafe」を導入、活用している。そこで、長崎県庁総務部 情報政策課の中川哲朗氏に「InterSafe」導入の経緯について詳しく伺った。

*株式会社富士キメラ総研 「2007パッケージソリューションマーケティング便覧」

長崎県庁様



長崎県庁
総務部 情報政策課
主事 中川哲朗 様



INTERSAFE CASE STUDY



長崎県庁はALSI製品をどのように活用しているか

— 長崎県庁では、ALSI製品をどのようにご活用いただいておりますか。

長崎県庁では、2007年1月にALSI のWebフィルタリングソフト InterSafeを導入、現在、本庁における全6,000端末にフィルタリングを施し、悪質サイトからネットワークを守ると同時に、情報漏洩対策と不適切なサイトへのアクセス管理に活用しています。

— 今回、InterSafeを導入したきっかけを教えてください。

長崎県庁がWebフィルタリングを開始したのは2002年のプロキシサーバー導入がきっかけでした。庁舎内でのインターネット利用においては何らかの制限をかけるべきであるという考えから、ある海外製品を導入しました。

しかしその製品は、不適切なサイトの規制において海外サイトに対しては強いものの、日本語サイトのURL規制に漏れが生じていました。また、フィルタリングの設定をその都度サーバーから行わなければならないなど、管理側の負荷が大きいものでした。

そこで、プロキシサーバーの償却のタイミングで、課内で協議、ゼロベースでフィルタリングソフトを選定し直すことになりました。2006年10月のことです。

長崎県庁におけるフィルタリングソフトの要件

— 長崎県庁におけるフィルタリングソフトの選定の要件を教えてください。

フィルタリングソフトに求める要件以下3点です

1. 「日本語サイトのフィルタリング精度が高いこと」
2. 「シェアが高い、つまり多くの人に認められた製品であること」
3. 「設定、管理がしやすいこと」

この要件で情報を集め、3製品に絞り、検討を行いました。

長崎県庁がInterSafeを選んだ理由

— 最終的にInterSafeを選んだ理由は何ですか。

InterSafeが相対的に上記の要件を最も満たしていました。特に国内トップシェアであること、InterSafeのデータベースが日本人の目視によるものであることの信頼性が大きな理由で、2007年1月から本格導入を行いました。最初の3ヶ月間は旧製品と併用する形で運用しました。

まず厳しく～長崎県庁のInterSafe運用のポリシー

— 次にInterSafeの運用についてお聞きしたいと思います。まず、長崎県庁では、どのようなポリシーでアクセスコントロールを行っていますか。

全体の方向性として、「最初は厳しく、その後業務の実情に応じて解放していく」やり方と、「最初にゆるくして後に規制を加えていく」という二つのやり方が考えられました。課内での協議の結果、最初に厳しくしたほうが、より抜け漏れを防げると考え、前者を選びました。

そこでまず最初に「官公庁基本パターン」





を設定、解除申請窓口のアドレスを設け、職員からの問い合わせの対応が始まりました。しかし、県庁の業務は、他の官公庁と比べ、業務内容が広範囲に渡ります。運用開始直後は職員からの解除申請の対応に追われました。

— 具体的な例があれば教えてください。

例えば、「飲酒」「アルコール製品」などは、官公庁の基本パターンでは規制されるカテゴリです。しかし、長崎の特産物を扱っている課では、地酒の情報などを確認しなければなりませんので、カテゴリごと解放しました。同様の理由で「食事・グルメ」カテゴリも解放しました。

また、「タレント・芸能人」のカテゴリも必要ないと思いがちですが、長崎県出身の芸能人を地元のイベントに招聘する場合などは、その芸能人の方のホームページを見ないわけにはいきません。こういったものは、カテゴリではなく、URLごとの解放にしました。

— 解除申請が落ち着くまでにどれぐらい時間がかかりましたか。

約2週間です。今は週に1~2回の申請がある程度です。最初こそ大変でしたが、「最初を厳しくして、必要に応じて確認しながら開けていく」というやり方は、管理のしやすさの観点においても結果的には正解であったと思います。

InterSafeの評価点

— InterSafeをお使いいただいて約1年がたちました。これまでのところの評価をお聞かせください。

InterSafeの機能の以下のような点を評価しています。

1. 「当初の期待通り、フィルタリングの精度が高い」
アップされて間もない新しいサイトであっても漏れなく規制してくれる。

2. 「設定の内容が、即座に反映される」
以前の製品では設定を反映するには再起動が

必要でした。しかしInterSafeならPC画面上の簡単な操作でリアルタイムに反映するので余分な業務が発生しません。

3. 「画面表示がわかりやすく親切」
URLが規制により表示されない時には、何のカテゴリだから表示されないのか、日本語でわかりやすく表示されます。旧製品も表示はされていましたが、英語でした。

4. 「広告表示も止めてくれる」
例えば検索エンジンでも、広告部分に禁止カテゴリがあれば、その部分の広告だけ表示されません。盲点になりがちなところもカバーする精度は大いに評価に値すると思います。

InterSafeの使いこなし方

— InterSafeを使う上で何か使いこなしのコツなどございましたらお聞かせください。

部署ごと、課ごと、あるいは業務内容ごとに細かくグループ分けをし、それぞれ規制カテゴリのルール決めを行えば、より業務の実態に合ったアクセスコントロールが実現し、セキュリティと業務効率化の両方が実現すると思います。

今後の期待

— ALSIへの今後の期待があれば教えてください。

2008年3月に発売された、新バージョンのInterSafe Ver6.0には、添付ファイル規制やWebメール経由のファイル送信規制が盛り込まれていると聞きました。その対策はまさに長崎県庁でも情報漏洩対策での懸案事項でもありますので、近い将来タイミングを見てInterSafe Ver6.0へのバージョンアップも検討したいと思っています。

ALSIには今後も優れた製品力により、長崎県のセキュリティ向上、業務効率向上をご支援ください。期待しています。



「導入後、職員からの解除申請は、2週間ほどで落ち着きました」

長崎県庁について



〒850-8570
長崎市江戸町2-13
<http://www.pref.nagasaki.jp/>

■お問い合わせ先

フィルタリングエンジンおよびURL データベース提供

 **NetSTAR** ネットスター株式会社
●詳しい情報は <http://netstar.jp>

 **ALSI** アルスシステムインテグレーション株式会社
〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町1-7
TEL 03-5499-1331 FAX 03-5499-0357
●詳しい情報は <http://www.alsi.co.jp/>